

かみなりまつ
神成松遺跡第8地点

伊勢原市 No.74 遺跡



[神奈川県教育委員会所蔵]

1. 谷部J 6号竪穴住居跡出土土器 (縄文時代中期)



[神奈川県教育委員会所蔵]

2. 台地部J 1屋外埋甕出土土器 (縄文時代後期)



[神奈川県教育委員会所蔵]

3. 谷部H 1号河道出土火鍬板



[神奈川県教育委員会所蔵]

4. 谷部H 3号河道出土建築部材?

● 主な調査成果

2019年12月から2021年7月まで整理を行いました。遺跡は、台地平坦部から谷部を含む範囲に広がり、台地平坦部から谷部への斜面では、縄文時代後期(約3500年前)の竪穴住居、土坑、集石などが発見され、集落であったことがわかりました。奈良・平安時代から江戸時代までは、住居等は見つからず、耕作地であったことがわかりました。

谷部は縄文時代以降、埋没が進んだことがわかりました。各時代の堆積した土砂からは土器を中心に遺物が出土しています。古墳時代から奈良・平安時代の谷部の流路からは、火鍬板や建築部材?と考えられる木製品や完形の土師器坏がまとめて出土しました。古代以降は、埋没した谷面に水田、畠が構築されたことがわかりました。

● 調査期間 2015年7月1日～2017年7月31日

● 事業者 国土交通省関東地方整備局

● 調査原因 一般国道246号(厚木秦野道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

● 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生、縄文、旧石器

● 所在地 伊勢原市上粕屋

● 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約3kmの上粕屋扇状地上

